



学校通信

平成29年度 第6号
平成29年10月 2日
練馬区立開進第三小学校
校長 土屋 信行

折り返し地点

校長 土屋 信行

「暑さ寒さも彼岸まで」と言われますが、少しずつ涼しくなり、しのぎやすい季節となってきました。開三小では今、学芸会を3週間後に控え、どの学年も熱心に練習に取り組んでいます。

先週の全校朝会でも話をしたのですが、私は担任時代から9月25日を大切な節目の日として考えてきました。この日は前年度の卒業式から数えてちょうど半年後にあたります。つまりその年度の折り返し地点であり、半年後には再び卒業式が行われるのです。

本校においても、半年前の3月（前年度は24日）、現在の6年生は5年生として卒業式に出席し、緊張感の中、大変立派な態度で卒業生を送り出しました。その時、現1年生は小学校入学前。ご家族と入学準備をしながら小学校生活への夢をふくらませていた頃でしょう。

それから半年、子どもたちは実に大きく成長しました。6年生は運動会、連合水泳記録会、軽井沢移動教室等も終え、一段とたくましくなり開三小の顔として全校のリーダーとして活躍しています。特に連合水泳記録会では、その態度が素晴らしく、他校の先生方からも多くのお褒めの言葉をいただきました。

5年生も、運動会や下田移動教室等、数多くの行事の練習、準備、そして本番を経験する中で、高学年としての自覚が一段と高まってきています。様々な場面でリーダーシップを発揮する等、学年全体に覇気が感じられます。きっと来年度は立派な最高学年になってくれることでしょう。

1年生もすっかり小学校に慣れ、毎日元気に学校生活を楽しんでいます。他の学年も、この夏を越え、心身ともに本当に大きくなりました。

半年後には、再び3月（今年度は23日）、卒業式がやってきます。6年生は、送る立場から送られる立場になります。どの学年も残り半年、更にたくましく成長し、次の学年に進んでほしいと願っています。各ご家庭におかれましても、この半年間の子供たちの我慢と努力、そして成長を褒め、今後への期待を語っていただけましたら幸いに存じます。

さあ、いよいよ10月20・21日は学芸会です。きっと子供たちの輝く姿がいろいろな場面で見られることでしょう。多くの皆様のご来校を心よりお待ちしております。

